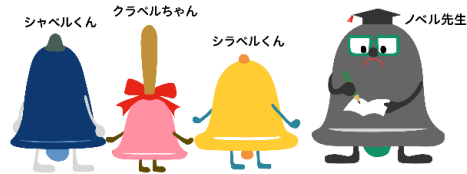


ゆくはし 図書館を使った 調べる学習コンクール

「図書館を使った調べる学習コンクール」は、図書館が持つ力——調べる機能を、広く子どもから大人まで知ってもらい、調べることを通して、知的好奇心・情報リテラシー・読解力・思考力・言語力などの、生涯を通じて「学ぶ」という力を養ってもらうことを目的として行われています。日ごろから疑問に思っていること、もしくはその疑問自体を、図書館の力を使って探し、調べ、知識として深めてみませんか。



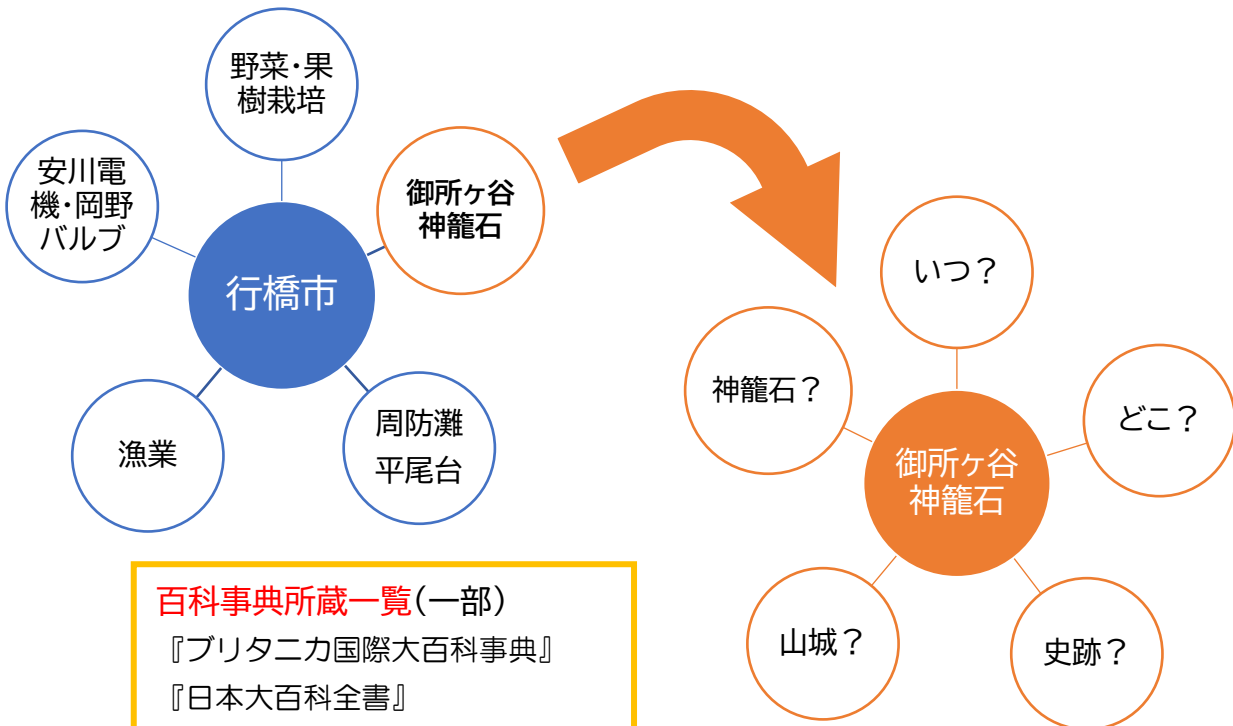
©図書館振興財団

1. テーマを決める

まずはテーマを決めます。どんなものでも構いませんが、このテーマ決めが最も重要です。自分が面白いと思うもの、不思議に思っていることを探してみてください。4階の参考図書コーナーや、3階の新聞・雑誌コーナーを見てもみるのもオススメです。

例)行橋市

「行橋市」という大きなテーマから、連想されるワード、百科事典などを引いて出てきたワードを書き出します。さらにその中から絞っていき、もっと調べてみたいという小さいテーマを導き出します。最終的に導き出したワードをテーマに据え、疑問に思うものや、その理由を書き出します。



百科事典所蔵一覧(一部)
『ブリタニカ国際大百科事典』
『日本大百科全書』
『世界大百科事典』など
4階参考図書コーナーにあります。

※もしテーマが思いつかない場合…図書館を歩いて回り、棚を覗いてみるのはいかがですか？

0	総記	図書館・博物館・ジャーナリズム・百科事典
1	哲学	哲学・宗教・心理学・倫理学
2	歴史	日本史・世界史・伝記・地理・紀行
3	社会科学	政治・法律・経済・社会・教育・民俗
4	自然科学	数学・物理・化学・宇宙・地学・植物・動物・医学
5	技術	建築・機械・電気・海洋・金属・製造・生活
6	産業	農業・園芸・畜産・林業・水産業・商業・交通
7	芸術	絵画・書道・写真・工芸・音楽・演劇・スポーツ
8	言語	日本語・辞典・作文・外国語
9	文学	文学史・詩歌・小説・エッセイ・日記・外国文学

本との出会いは人それぞれです。「タイトルに惹かれて」「装丁が気になって…」など。直接資料に触れ、新しい知識の扉を見つけてみてください。



©図書館振興財団
シラベルくん

図書館の資料はこの分類(NDC=日本十進分類法)順に並んでいます。主に0~5は4階、6~9は3階にあります。配布している館内マップを見ながら歩いてみるのもいいかもしれません。

フロアを行き来するのが大変だと思う方は、2階の児童フロアがオススメです。児童書は子ども向けに書かれている資料ですが、分かりやすく要点がまとめられており、「きっかけ探し」には最適です。

また、図書館の資料は、全てが開架に並んでいるわけではありません。古い資料・貴重資料は、閉架に保管してあります。そちらにどんな資料があるかも含めて見てみたい時はOPAC(Online Public Access Catalog=所蔵目録)を開いてみてください。館内OPAC(館内の検索機)もいいですが、じっくり見るのなら図書館HPから見られるWeb OPAC(HPメニュー→図書館→蔵書検索)がオススメです。

2. 調べる計画を立てる

○本で調べる

図書館の資料には、背表紙にラベルが貼ってあります。このラベルには分類(NDC)と図書記号(著者の頭文字など)が書かれており、その順番に資料が並んでいます。検索機を使うと、自分の探したいジャンルの本がどの分類・棚にあるかが見つけやすいです。

※別置記号や保管場所はよくご確認ください。

(B→文庫 保管場所:閉架 郷土資料など)

210.3エ



○雑誌・新聞で調べる

行橋市図書館は、雑誌約100誌以上、新聞7紙を定期購読しています。どのような雑誌があるかは、棚を直接ご覧になるか、OPACでご確認ください。

新聞の保存期間は1年間です。古い新聞を調べたい場合はデータベースがオススメです。(コピーも可)

○図書館が契約しているデータベースで調べる

行橋市図書館は3つのデータベースを契約しています。紙媒体ではできない、新聞記事の検索や、一度で沢山の事典や辞書を引くことができます。

また図書館ホームページの下の方にある「行橋市デジタルアーカイブ」より『行橋市史』(一部)、「大橋村 行事村 宮市村見取図」、「行橋市増田美術館作品」(一部)の閲覧が可能です。

データベース一覧

- ・西日本新聞データベース (1989年～)
- ・日経テレコン (日経各紙 1975年～、企業データ等)
- ・ジャパナレッジ (国内最大級の事典、辞書サイト)

データベースは、3階インターネットブースで利用できます。

○インターネットで調べる

契約データベース以外にも、インターネット上には様々な情報が発信されています。発信元の信頼性が高いもの(行政関係や出版社等)や、情報ソース(いつ頃の情報が。引用元や参考文献が載っているか。)がはっきりとしているものを選んで、利用するように気を付けてください。

📄リサーチ・ナビ (国立国会図書館) <https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>

📄総務省統計局 <https://www.stat.go.jp/>

📄e-Gov (デジタル庁) <https://www.e-gov.go.jp/>

📄インターネット版官報 (国立印刷局) <https://kanpou.npb.go.jp/>

📄福岡県立図書館 調べものに役立つリンク集

<https://www.lib.pref.fukuoka.jp/hp/reference/links/index.htm>

(すべて 2023.5.7 参照)

館内にはフリーWi-Fiが
あって、タブレットも
貸してもらえますよ!



○図書館スタッフに相談する(レファレンスサービス)

図書館スタッフが調べもののお手伝いをします。調べる上で困ったことがあったら、お気軽にお尋ねください。

※何について調べていて、これまで何を調べたか、どんな情報が知りたくて困っているのかなどを、調査票に書いておくと、スタッフがすぐに調査できます!

知ってた??



実は、福岡県立図書館のカードは、県民なら郵送で作れます。カードを作ったら、県立のパーソナルサービス(県立所蔵資料の指定館貸出返却・電子書籍の閲覧など)が受けられるようになりますよ。詳しくは、福岡県立図書館のHPを確認してくださいね!

○図書館以外で調べる

知識を知識だけで終わらせるより、体験した方が面白いと思いませんか？動物園や水族館に観察に行ったり、博物館や美術館で本物を見たり、身近な人や、専門家にインタビューしたり、道具をそろえて実験してみたり・・・新たな発見が図書館の外にはあると思います。その発見を、再び図書館に持ち帰って、より色々なことを調べてみてください。

図書館にない資料は、相互貸借で別の図書館から取り寄せたり、複写依頼を申し込んだりすることもできます。（どれも届くまでに時間がかかるから、ご利用は計画的に！）



館内には目的に合わせて、沢山の座席があるわ。自分が調べものをしやすい席を選んで利用してね！



座席の種類	席の説明
1F コワーキングスペース	飲食可能で、打ち合わせやグループ学習など、気軽に利用できるスペース。
1F 交流(カフェ)スペース	飲食スペース。（※お食事が終わっているお客様には、次の方に席を譲っていただく場合があります。）
2F 児童閲覧席	児童が利用しやすい高さの、小さな閲覧席。（子どもたちが利用しやすい空間づくりの為、中学生以上の方には席を譲っていただく場合があります。）
3F ブラウジングコーナー	図書館資料を閲覧する専用席。持ち込み学習などでの利用はご遠慮ください。
3F アクティブラーニング	可動式の机やホワイトボードを設置しており、グループ学習などが可能なスペース。
3F パソコンコーナー	インターネットの利用、DVD・CDの視聴が可能なコーナー。3種のデータベースも無料でご利用いただけます。
2～3F テラス席	読書や食事をすることができます。（※雨天時・夜間または、晴天時でもテラスが濡れている場合は閉鎖します。）
4F サイレントフロア	静かに読書・学習がしたい利用者向けに設けられたフロア。利用(予約)には手続きが必要になります。 ※事前予約はできません。
4F サイレントルーム	キーボード・マウス操作、電卓の使用、会話等が禁止の部屋。特に静かな環境をご希望の方向け。

座席についているコンセントは、持ち込みパソコン・タブレット等ご利用時に使用できます。

館内には防犯カメラが設置されておりますが、盗難防止のため貴重品は必ず身に付けていただくか、1階のロッカーをご利用いただき、長時間の離席はご遠慮ください。

3・調べたことを記録する

調べたことは「調査カード」のように、カードで記録すると、あとでまとめる時に便利です。

自分の考えと、資料で調べたことや引用文が、混ざらないように気を付けてください。参考文献は、**出典**を記録し、引用で写した個所や要約は「」や“”を付け、自分の考えと区別できるように書いてください。

参考文献は、その情報が本当に正しいかという確認のためにも、調べたい事柄一つに対し、2つ以上の資料を読み比べることをオススメします。

例1) 図書の場合・・・著者名・タイトル・出版社・出版年・総ページ数・請求記号

井上奈智「図書館とゲーム」日本図書館協会 2018 170p 015.8ト

例2) 雑誌記事の場合・・・著者名・記事タイトル・雑誌名・出版年・巻数(号数)・参考にしたページ

大谷康晴「2010年代の図書館情報学教育部会」『図書館雑誌』2021
115(5) p279-281

例3) Web の場合・・・制作者名・Web サイト名(ページ名)・更新日付・URL・アクセス年月日

公益財団法人 図書館振興財団 “図書館を使った調べる学習コンクール” 2022
<https://concours.toshokan.or.jp/> 2022-4-1

もっと詳しく書き方を知りたい方は、「図書館を使った調べる学習コンクール」HP の「参考文献リストの書き方(高校生以上の方向け)」(<https://concours.toshokan.or.jp/application>)等をご覧ください。

○図書館での複写について

図書館では、複写物の使用目的が個人の調査・研究・学習の場合のみ、図書館所蔵資料の一部分を複写することができます。複写物の提供は、一人につき一部です(著作権法第31条)。記録する文章が多い場合や、あとで要約して使いたい場合などに、ご利用になってみてください。

複写には、3階もしくは4階カウンターで**申し込みが必要**です。(複写はセルフサービスです)

※雑誌や新聞は、最新号のうちは複写できませんので注意してください。

なお、図書館のインターネットブースで閲覧できる Web サイトのコピーは、この限りではありません。

資料例	範囲
単行本	全体の半分まで
地図	1枚の半分まで(地図帳の場合、1つの地図の半分まで)
写真・絵画	個々の写真・絵の半分まで
楽譜	個々の楽譜・歌詞の半分まで

複写した資料の出典も、
忘れずに記録しましょう！



図書用カード

※必要な分をコピーしてご利用ください。

No.	調べること		
著者名	タイトル		
出版社	出版年	ページ	請求記号

No.	調べること		
著者名	タイトル		
出版社	出版年	ページ	請求記号

Web サイト用カード

※必要な分をコピーしてご利用ください。

No.	調べること	
制作者名	Web サイト名 (ページ名)	更新日付
URL		アクセス年月日

No.	調べること	
制作者名	Web サイト名 (ページ名)	更新日付
URL		アクセス年月日

4.まとめる

他の人に教えるつもりで、情報をまとめます。冊子タイプや新聞タイプなど、まとめる形も色々あります。具体的にどういう風にしたらいいか悩ましい場合は、館内2階に展示してある過去の応募作品や、Web サイト「図書館を使った調べる学習コンクール」の「過去の作品を見る」を参照してみてください。

まとめ方(例)

○テーマを選んだ理由（序論）

何故このテーマを調べてみようと思ったのかを、読み手に分かるように書きます。
その時に、予想や仮設を立てたなら、それも書くと尚良いでしょう。

○何をどう調べたか(本論)

書きためた調査カードを並べ、その道筋が読み手に伝わるように工夫します。カードにしておくと、順番を簡単に換えられ、全体の組み立てがしやすくなります。本文(表紙・目次、参考・引用文献一覧は含みません)は 50 ページ以内に収めてください。写真やイラスト等を添えると、尚良いでしょう。

○目次

全体の流れが決まったら、目次を考えます。ページ番号も入れましょう。

○参考文献

参考・引用文献一覧を作ります。このリストは、完成品の巻末に付けてください。

○結論

調べて分かったこと、それを踏まえての考察などを書きます。調べる前と後で、変わったことなどもあれば書きましょう。

○タイトル

完成した作品に相応しいタイトルを考えます。タイトルが決まったら、表紙を作りましょう。
表紙は作品の顔となります。工夫を凝らしましょう。

表紙→目次→本文（序論・本論・結論）
→参考・引用文献一覧と並べて、冊子体にしよう！



コンクールに応募するには

小学生の部／中学生の部／高校生の部／大人の部／子どもと大人の部

テーマ：自由の部、ゆくはし（郷土）の部

募集期間：2023年7月20日（木）～9月25日（月）

応募資格：行橋市在住の方

リブリオ行橋まで、応募シートを添えて提出してください。

応募シートはリブリオ行橋にあります。

詳しい要項は応募シートに書いてあります。



シラベルくん

作品について

©図書館振興財団

【サイズ】小学生：B4 サイズまで 中学生以上：A4 サイズまで

【ページ数】1 ページ以上50 ページ以内

（目次と参考文献のページは含みません）

※パソコンの出力紙での応募する場合は、文字サイズ11ポイント以上、1ページの文字数は1,000文字を目安にご協力ください。

【参考文献】調べたときに利用した資料名および図書館名を必ず書いてください。

「行橋市電子図書館」や「行橋市デジタルアーカイブ」で調べた場合は「行橋市図書館」の利用としてください。

審査のポイント

- ◇ 図書館の資料を使って調べているか。
- ◇ 調べたいテーマにあう資料を集めているか。
- ◇ 2つ以上の本や情報を使って調べているか。
- ◇ 自分で書いた文章と、引用した資料の文章を分けて、どの資料のどの部分を参考にしたか、本文中にしっかり書いているか。
- ◇ 調べる目的、方法、手順など、きちんと説明できているか。
- ◇ 調べた情報をもとに、自分の考えをまとめているか。
- ◇ 調べることや学ぶことの楽しさや面白さが、作品を読んだ人に伝わるか。
- ◇ 調べた情報が整理できていて、表現方法に工夫があるか。

参考資料

著者名	タイトル	出版社	出版年
藤田 節子	図書館活用術 新訂第3版	日外アソシエーツ	2011
寺尾 隆	図書館徹底活用術	洋泉社	2017
沼崎 一郎	はじめての研究レポート作成術	岩波書店	2018

Web制作者	Webサイト名	URL	更新日付	アクセス日
公益財団法人 図書館振興財団	図書館振興財団 調べる学習コンクール	https:// concours.toshokan.or.jp	2023	2023-5-7

協力

海老名市立有馬図書館（神奈川県海老名市）<https://ebina.city-library.jp/ja>

田川市立図書館（福岡県田川市）<https://tagawa-biblio.jp/>

皆様のご応募

お待ちしております！



©図書館振興財団